

花きの県別生産出荷概況(10月見通し)

令和元年9月30日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数 千本 (前年比)	京浜地域向 千本 (前年比)	上旬	中旬	下旬		
バラ	群馬	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	12.2 (95%)	923 (101)	647 (101)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	生育は順調に進んでおり、主産地である前橋では春に改植した品種の出荷が本格的に始まる。今後は、気温の低下に伴い全体的に品質が向上していく見込み。10月については平年並みの出荷を見込む。問題となる病害虫の発生はみられない。
ロア メル リス アト	北海道	周年	アイスクリーム アバランジェ アーロン レモネード	周年 (5・10月)		1,187 (103%)	4,503 (97%)	30	30	40	岩見沢市 JAいわみざわ	10月下旬より増える予定。新株は10月上旬より出荷
トル コギ キョウ	北海道	促成~	ハピネスホワイト	5~11月		2,188 (100%)	3,632 (112%)	50	35	15	由仁町 JAそらち南	天候が順調で1週間ほど生育が早まっている
			ロベラブルーフラッシュ					60	40	0		
			マキアホワイト	8~9月				100	0	0		
			モンロー					65	35	0		
	秋田		セレブシリーズ ボヤージュシ リーズ 他	5~11月 (8~10月)	1191 (104%)			40	30	30	秋田ふるさと 秋田こまち 秋田おぼこ	JAうごのメガ団地稼働のため面積微増。5月の高温が影響し盆前までやや遅れていたが、その後は生育進み9月現在潤沢出荷となっている。計画以上に出荷が進んでいるため、10月出荷はやや少ない見込み。
長野	無加 温・抑 制	マリアホワイト クラリスピンク レイナシリーズ ハピネスホワイト			950 (90%)		45	35	20	佐久 諏訪 松本 伊那	極端な前進傾向や作柄不良となっている産地もあり、10月は荷物が非常に少ない見通し。	
熊本	施設	ミヨシ系 サカタ系 八江系など	周年 (11・5月)	22.3	414 (微減)	106 (微減)	18	36	46	熊本市 菊池 八代 球磨 等	現在は厳寒期向けの定植を行っており、年内分の出荷開始は10月中旬ごろから始まっていく。10月は下旬になるにつれて早い作型の分が徐々に出荷増加していく。定植後の低日照によりチップバーンが散見され、今後の天候次第では下位等級が増える見込み。	

花きの県別生産出荷概況(10月見通し)

令和元年9月30日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	昨年より多少多い入荷量。昨年と比べて等級はワンランク低く、短いものが多い。後半以降入荷量は減少(大田)。7月の長雨の影響で安定しない入荷。下旬にかけて暖地物が増えて、全体的に微増(FAJ)。高冷地中心に引き合い強い。婚礼需要もあり、相場は好調(世田谷花き)。8月の急激な気温上昇で、各産地草丈が短く花のサイズが小さめな商品が多く、上位等級が少なく、業務需要もあることから、高単価の取り引き(東日本板橋花き)。上位等級は比較的安定した販売(東京FP)。	
	見通し	大田花き	西南団地の品物が酷暑の影響から回復してくる。(9月の気象次第だが)徐々に上位等級の入荷も増加する見込み。高冷地も品質が向上してくるが、出荷量は減少。2週、3週目とブライダルの引き合いが非常に大きい。
		FAJ	暖地のものが最盛期となる見込み。引き続き好調な販売が見込まれる。
		世田谷花き	暖地が本格的に始まり、数量増加。丈が短いものは厳しいが、上位等級引き合い強い。
		東日本板橋花き 東京フラワーポート	気温の低下とともに品質は回復する。引き続き婚礼・お祝い需要中心の動き。増税の影響による小売りや末端の動向に注意したい。 山形中心の入荷。西南暖地も増加するが、短めのもの多い。輸入物も多くなる。
アルストロメリア	現状	北海道は減少傾向、愛知、長野が増加。葬儀需要中心となり、白・ピンク・紫が少ない状況。気温も下がり、徐々に小売店等でも引き合い強まった(大田)。長野、山形メインの入荷だが、山形が葉焼けで入荷半減。販売は好調(FAJ)。北海道産が減少、長野産が徐々に増加、引き合い上がる(世田谷花き)。愛知、青森、北海道中心の入荷。高冷地産は昨年より少ない。業務中心の動き(東日本板橋花き)。高温の影響で未だに少なく、高値安定(東京FP)。	
	見通し	大田花き	徐々に数量回復していく見込みだが、葬儀需要にからむ色は下位等級で品薄が続く。気温も下がるにつれて品質も上がっていく。
		FAJ	入荷量は微増傾向で、引き続き好調な販売が見込まれる。
		世田谷花き	据え置き株が1回目のピーク。新品種も徐々に増える。
		東日本板橋花き 東京フラワーポート	愛知、青森、北海道中心の入荷。愛知産は新品種等の出荷が始まる。昨年並みの出荷の予定。 徐々に数量が増えてくるが、昨年より少ない見込み。
トルコギキョウ	現状	天気の回復とともに数量が増加し、各色潤沢な入荷となった。特に白は各産地まとまった数量となったため、低調な取引となった(大田)。東北中心に順調な入荷。やや生育が早く、下旬は減少傾向(FAJ)。遅れていた作型が一気に開花、北海道、福島、長野産がピークを迎えた(世田谷花き)。定植後の高温で丈が短いまま開花し、下位等級が多い。北海道、東北産が順調に入荷。業務、お彼岸需要で上位等級動く(東日本板橋花き)。入荷が多く高くはないが、比較的安定した販売(東京FP)。	
	見通し	大田花き	ブライダル需要も強くなり、引き合いが出る。高冷地は徐々に終了、出ても短めのものが多くなる。西南暖地の秋だしの出荷が始まる。
		FAJ	高冷地が前進出荷の影響から、例年に比べて減少傾向。暖地は中旬以降より出荷開始。
		世田谷花き	高冷地は一段落。例年であれば九州・四国産地の出荷が始まるが、台風被害で遅れる模様。
		東日本板橋花き 東京フラワーポート	引き続き東北産があり、北関東産の入荷も始まる。昨年より微増。業務中心の動き。 各産地例年並みの作付けだが、千葉産は台風の影響が大きく、数量が減少する。
ストック	現状		
	見通し	大田花き	山形中心にスタンダード系が先行し、その後スプレー系も増加する。外気温にもよるが、出荷始めのため上・中旬は落ち着いた動きとなり、下旬以降から引き合いが出てくる見込み。
りんどう	現状	FAJ	千葉産は台風被害により入荷が激減。他県からの入荷は平年並み。
		物日(お月見・敬老・彼岸)に絡めて増加、販売も順調。紫系は深山系もスタート。ピンク、赤系等、色の強いものも後半より出荷始まる(大田)。岩手中心の入荷。彼岸需要で単価が回復、中旬以降も安定(FAJ)。彼岸需要中心に引き合い強い。下旬は落ち着く。晩生品種中心の構成(世田谷花き)。高温の影響でやや遅れ、数量が少ないため価格は安定(東京FP)。	
	見通し	大田花き	深山系はじめ晩生品種が増加。寒くなるため爆発的な数量増加とはならないが、丈の長いもの中心に安定した入荷見込み。
		FAJ	入荷量は昨年並み。季節商材として安定した販売が見込まれる。
		世田谷花き 東京フラワーポート	ササ系、深山系中心の入荷。品種も多い。 岩手、山形産は例年並みの入荷、福島産は減少。